



# 西金沢学園だより

～地域と保護者の皆様へ～

令和5年9月29日

NO.7(65号)

横浜市立義務教育学校  
西金沢学園

〒236-0046 金沢区釜利谷西四丁目 19 番 1 号

【本校舎】電話 045-784-0921

【分校舎】電話 045-782-7577

(西金沢学園 HP) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikanazawa/>

## 行事を通して思うこと

校長 梅澤 薫

まるで夏休み期間が続いているかのような暑さが続いた9月ですが、昔からの言葉にある通り、お彼岸を迎える頃より、ようやく本来の季節感に近づいてきたように感じています。季節の移ろいととともに、本校もさらなる教育活動の充実期を迎えていきます。保護者・地域の皆様には今後も変わらぬ本校へのご支援とご理解をいただきますようお願いいたします。

9月21日(木)実施の第7回体育祭には沢山の保護者・地域の方々にご参観いただき、ありがとうございます。天候が不安定だったことを受け、一部競技の取り止めやプログラム変更などにより全体を短縮した形式で実施したことに加え、閉会式については急遽体育館で行うなど、最後まで様々な対応を余儀なくされる一日ではありましたが、無事に実施することができました。皆様のご協力に感謝いたします。

体育祭をはじめ学校における様々な行事は子どもたちの成長を促し、学校の力を高めるとても大切なものです。本番での活動だけでなく準備や練習など事前の取り組みや、事後の振り返りも大切な営みとなります。そのような視点で約1か月に渡った時間をふり返ってみた時に児童・生徒の皆さんはどのような感想を持つでしょうか。私は開会式において自分のために全力を尽くすことに加え、応援してくれる誰かのためにも力を発揮してほしいと話しました。そのことは、真剣に競技に取り組む姿や互いに応援し讃えあう声かけに、あるいは先生に好結果を報告し共に喜びあう姿に見ることが出来たように感じ、嬉しく思いました。また、閉会式では様々な変更にもかかわらず、しっかりと取り組めた皆さんに対応力の高さというものを感じたこと、そして、その対応力を発揮するためにはしっかりと計画や準備が必要であるということをお話しました。これからの皆さんにとって、体育祭を通じて得た経験も今後のさらなる活躍にむけた大きな一歩となるといいですね。

ところで、義務教育学校となってから現行の形で行われるようになった体育祭も、年々工夫を重ね小中学生と一緒に参加することの特色を活かせるようになってきていますが、今年も昨年度以上に前期課程と後期課程が一緒に行う体育祭の良さを生み出そうという思いでいくつかの改善を試みました。種目構成や競技内容を見直し児童生徒が共に取り組む場面を増やしたり、前期課程保護者の方々がお楽しみ会を兼ねて見学しやすいように演技途中で隊形を変えたりした試みはいかがだったでしょうか。今後も必要な工夫改善があれば取り入れ、義務教育学校の体育祭という性格を強めていければと考えています。約1か月後のくすのき祭においても、昨年度以上に児童の発表場面などを増やし、中学校の行事に小学生が参加するといった意識ではなく、本校ならではの5年生から9年生の行事として発展していく第一歩として工夫改善が計画されています。体育祭と同じく、くすのき祭への取り組みが子どもたちにとって大きな糧となるようにしていきたいと思っています。

そして、10月7日(土)にはパワスポが行われます。これも1年生から4年生までの運動会という本校ならではの行事です。毎日のようにそれぞれの学年が一生懸命に練習に取り組んでいる様子が見られ本番が楽しみでなりません。赤組、白組双方には勝利を目指して全力を尽くしてほしいですが、勝負に際しては相手への敬意もしっかりと持ち続けられるといいですね。勝った時にすごくうれしいと思えるのは、自分たちと同じように一生懸命戦ってくれた相手がいるからです。

パワスポを経験した児童がいずれは体育祭やくすのき祭を担っていく生徒として力を発揮する、そんな本校ならではの子どもたちの成長の軌跡を想像しながら行事に臨むと一層楽しみが増していきます。

保護者・地域の皆様には今後も、「本校の子どもたち」への応援をお願いいたします。